

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセット、グローバル運用体制を強化

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、運用プロフェッショナル 3名の業務責任範囲を拡大することで、日興アセットのグローバル運用体制の強化を図ります。ロジャー・ブリッジズは、オーストラリアのシドニー勤務のままグローバル金利・通貨ストラテジストのポジションに就き、アンドレ・セベリノは、英国ロンドン勤務のまま米国・欧州の債券運用ヘッドに就任します。また、現在、チーフ・グローバル・ストラテジストを務めるジョン・ヴェイルは、この11月より東京から米国ニューヨークに拠点を移し、日興アセットのグローバル投資委員会(GIC)における投資方針や市場見通しの策定プロセスを主導します。

日興アセットの運用グローバルヘッドであるユーミン・ワンは、「お客様からのご要望の高まりを背景に、日興アセットのグローバル運用能力をこの1年にわたり大幅に強化してまいりました。社外からの優秀な人材の獲得により体制が強化されたことを受け、このほど、日興アセットの注力エリアに経験豊富な人材を配置します」と述べています。

ロジャー・ブリッジズは1998年に日興アセットマネジメント オーストラリアに入社し、同社の債券運用チームにおいてマクロ経済調査と戦略を提供しています。ブリッジズは今後、金利および通貨に関するチーフ・グローバル・ストラテジストとしてGICと緊密に連携し、マクロ経済調査および経済・市況見通しの策定に携わるとともに、金利と通貨に関する日興アセットの見解を市場に発信してまいります。

アンドレ・セベリノは2007年に日興アセットマネジメント アメリカズ・インクに入社し、現在、ロンドンの日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドにおいてCIO(最高投資責任者)代行の任にあります。また、運用残高が数十億ドルにおよぶソブリン債関連商品シリーズのシニア・ポートフォリオ・マネージャーを務めています。セベリノは、欧州および米国の債券運用チームの統括業務を含む、より大きな職責を担うとともに、グローバルマクロ戦略の運用チームにも参画する予定です。

ジョン・ヴェイルは2006年に日興アセットに入社し、チーフ・グローバル・ストラテジストを務めてきました。これに加え、GIC および複数の社内投資委員会を主導する立場にあります。日興アセットがより一層積極的にグローバル市場見通しをご提供すべく、ジョン・ヴェイルは11月に東京からニューヨークに拠点を移して、その実現に向けた取り組みを推進します。

以上

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興アセット)は、1959年の設立以来、さまざまな地域や資産クラスを対象とするアクティブ運用、パッシブ運用、オルタナティブ運用など幅広い資産運用サービスを提供しています。長年にわたり培ったグローバルな専門性や優れた運用能力が、リップラー、モーニングスター、マーサー、R&I、アジアインベスターなどの外部評価機関から高い評価を受けています。

日興アセットは経営の独立性を担保することでお客様の利益を最優先とする経営基盤を確立しています。この理念を背景に、三井住友信託銀行株式会社が当社株式の過半を、シンガポールのDBS銀行が一部を保有しています。

日興アセットグループ*は、世界12カ国25拠点に1,300余名の従業員を擁し、250名超の運用プロフェッショナルが17兆円**を超える資産を運用しています。銀行、証券会社、ファイナンシャルアドバイザーおよび生命保険会社などが構成する合計300社超のアジア有数の販売ネットワークを通じ、内外の機関投資家や個人投資家のお客様にサービスを提供しています。

(上記データはすべて2014年6月末現在)

*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2014年6月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会